

◆ 病床運用の状況（R3.2.18現在） いずれも病床運用のフェーズは最大のフェーズ4ステージ2※1

	重症病床	軽症中等症病床
入院患者数/確保病床数 (使用率)	110人/221床※2 (49.8%)	637人/1,741床 (36.6%)
入院患者数/実運用病床数 (運用率)	110人/222床※2 (49.5%)	637人/1,590床 (40.1%)

※1：病床確保計画にはない運用上のフェーズ
 ※2：重症C(30床)含む

◆ 病床確保計画における次フェーズ移行の基準と各病院の計画病床数（合計） ※病床確保計画は第3波を踏まえ改定予定

【重症病床】

【軽症中等症病床】

フェーズ	次フェーズ 移行の基準 (病床確保計画)	各病院計画 病床 (合計)	重症 C	次フェーズ 移行の基準 (病床確保計画)		各病院計画 病床 (合計)
				重症 C	軽症中等症 病床	
フェーズ 1	概ね27人以上で次のフェーズへ準備	約75床	5~	フェーズ 1	概ね225人以上で次のフェーズへ準備	約800床
フェーズ 2	概ね36人以上で //	約100床	10床	フェーズ 2	概ね360人以上で //	約1,100床
フェーズ 3	概ね105人以上で //	約150床	15~	フェーズ 3	概ね700人以上で //	約1,300床
フェーズ 4	概ね170人以上で //	約180床	20床	フェーズ 4	概ね1,000人以上で //	約1,600床
フェーズ 4-2	—	191床	30床	フェーズ 4-2	—	1,728床

◀現在、病床確保計画上の基準では、重症病床はフェーズ4相当、軽症中等症病床はフェーズ3相当にあたる▶

【参考】 重症病床：フェーズ4に移行した場合 ⇒ (運用見込) 110人/約200床※1 運用率見込み約55%

軽症中等症病床：フェーズ3に移行した場合 ⇒ (運用見込) 637人/約1,200床※2 運用率見込み約55%

※1：各病院の運用見込数 約180床+重症C20床

※2：新規受入病院等準備中の医療機関があるため、計画病床数の総計（約1,300床）と一致しない。

緊急事態宣言解除時にフェーズ移行する旨、予め病院に通知し通常医療へシフトする準備を進めてもらう